

第三者評価結果入力シート（児童養護施設）

種別	児童養護施設
----	--------

①第三者評価機関名

社会福祉法人 和歌山県社会福祉協議会

②評価調査者研修番号

SK18249

B24143

③施設名等

名称:	社会福祉法人紀北和楽会児童養護施設六地学園
施設長氏名:	船井 一二
定員:	40名
所在地(都道府県):	和歌山県
所在地(市町村以下):	橋本市橋谷325
T E L:	0736-37-0823
U R L:	http://rokujigakuen.d.dooo.jp/
【施設の概要】	
開設年月日	1949/12/28
経営法人・設置主体(法人名等):	社会福祉法人 紀北和楽会
職員数 常勤職員:	25名
職員数 非常勤職員:	4名
有資格職員の名称(ア)	保育士
上記有資格職員の数:	11名
有資格職員の名称(イ)	社会福祉士
上記有資格職員の数:	2名
有資格職員の名称(ウ)	看護師
上記有資格職員の数:	1名
有資格職員の名称(エ)	臨床心理士
上記有資格職員の数:	1名
有資格職員の名称(オ)	栄養士
上記有資格職員の数:	1名
有資格職員の名称(カ)	調理師
上記有資格職員の数:	2名
施設設備の概要(ア)居室数:	18室 40名 1229㎡
施設設備の概要(イ)設備等:	事務所 厨房 医務室 講堂 図書室
施設設備の概要(ウ):	小規模グループケア棟 園内保育室
施設設備の概要(エ):	25m6コースプール

④理念・基本方針

◇理念

「たすけ一条」の実践を通して「陽気ぐらし」実現を標榜する天理教の教えに基づき、児童養護事業を通じて、家庭での養育が困難な児童が生きる基盤を獲得することを支援し、児童の権利擁護と社会福祉の増進を図り、以て「陽気ぐらし」の実現に資する。

◇基本方針

「人の子も我が子も同じ心をもておふし立てよこの道の人」を天理教初代真柱様のお言葉に基づき、家庭での養育が困難な児童を当法人と施設の理念を理解した職員がともに生活する中で生きる喜びを感じ、たすけ合いを基盤とした温かい人間関係を深め、心身の安心を図り、児童が社会の中でその徳分を活かし、持てる力を十分発揮して、社会の一員として自立できるよう、やがて「陽気ぐらし」の実践できるように支援・養育する。
また関係機関と連携しつつ、地域の福祉に寄与する。

⑤施設の特徴的な取組

- ・「たすけ一条」の実践を通して「陽気ぐらし」の実現を標榜する天理教の教えに基づき、職員全員が共通してGSP（コミュニケーションペレンディング）による児童への支援を実践するとともに、それぞれがスキルアップを図っている。
- ・日々多忙な職員のため、リフレッシュ休暇制度を設け職員の心身の健康を図られている。
- ・家庭菜園を実施し、野菜の収穫や芋掘りを行い、子どもたちに自然に触れられる環境づくりがなされている。

⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間（ア）契約日（開始日）	2020/7/8
評価実施期間（イ）評価結果確定日	2021/2/3
前回の受審時期（評価結果確定年度）	平成29年度

⑦総評

<p>(特に評価が高い点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「人の子も我が子も 同じ心をもて おふしたててよ この道の人」という天理教の言葉をもとに、受け入れた児童のことを第一に考え、職員全員が昼夜を問わず、親身に寄り添い、きめ細やかな支援を実践している。また、以前取組みが不十分だった子どもたちの意見を積極的に汲み取り、運営に反映させるなど努力されている。 ・月1回の地域の清掃への参加や道路のゴミ拾いを行っている。地域の方からは、寄付（衣服等が届けられる）をいただくなど、交流が図られている。 ・施設は、木のぬくもりに包まれた温かく家庭的な雰囲気のもと、非常に清掃が行き届いている。 <p>(改善が求められる点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きちんとした取組みがなされているにも関わらず、口頭等に終わり文書化されていないことがある。施設内の職員体制上、厳しい状況であることは推測されるが、今後は、取組みや規程、マニュアルの文書化及び整備を行い、職員全員が共有できる仕組みづくりを期待する。 ・現在、児童個々による服薬に係る薬の管理方法については、誤って他人の薬を服薬する可能性が見受けられる。重大な事故を起こさないためにも、厳重な管理方法の検討を期待したい。
--

⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

<p>今回の受審では社会的養護に関して経験豊富に実践されておられます方々ということで大変緊張を致しました。現場の状況を理解して共感して下さること、そして今後の取り組み方のアドバイスもあり大変心強く感じさせて頂きました。今までの受審結果の改善点を意識して取り組みを行ってまいりましたが、今回の受審においてもまだまだ多くの課題があることに改めて気付くことが出来ました。改善点の多くは、文書化がされていない点でした。今後、規定・マニュアル等を整備していくこと、それぞれの課題に対して更に子どもの参画や職員全体での取り組みの必要性を共通認識としていくことに力を入れたいと思います。</p>
--

⑨第三者評価結果（別紙）

（別紙）

自己評価結果表【タイプA】（児童養護施設）

共通評価基準（45項目）Ⅰ 養育・支援の基本方針と組織

1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		第三者 評価結果
①	1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
	<input type="checkbox"/> 理念、基本方針が法人、施設内の文書や広報媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。	○
	<input type="checkbox"/> 理念は、法人、施設が実施する養育・支援の内容や特性を踏まえた法人、施設の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。	○
	<input type="checkbox"/> 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。	○
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、子どもや保護者等への周知が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。	○
【コメント】		
入園時の説明の生活のしおりには、学園の理念などがわかりやすく仮名打ちされるとともに説明が加えられている。わからないことは職員に聞く等の説明も加えられ、職員は常に説明できるよう理念を共有し、日々の支援に取り組んでいる。		

2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		第三者 評価結果
①	2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。 <input type="checkbox"/> 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。 <input type="checkbox"/> 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。 <input type="checkbox"/> 子どもの数・子ども像等、養育・支援のニーズ、潜在的に支援を必要とする子どもに関するデータを収集するなど、施設(法人)が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。 <input type="checkbox"/> 定期的に養育・支援のコスト分析や施設入所を必要とする子どもの推移、利用率等の分析を行っている。	c
【コメント】 橋本市福祉施設連盟に加入し、会議等に参加するなど地域の動向を把握できるように取り組んでいる。また不明なところは市の担当者に聞く等経営環境の変化の把握に向けて情報把握に努めているが、分析するまでには至っていない。今後情報を基に分析していくことにより経営環境の変化に対応していくことが期待される。		
②	3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。 <input type="checkbox"/> 経営環境や養育・支援の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。 <input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。 <input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。 <input type="checkbox"/> 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。	b
【コメント】 理事会は定期的に関催され、経営状況や課題については役員間で共有され、それを職員会議などで施設長から職員に説明がなされているが、問題点を明らかにし経営状況や課題の改善、解決に対しての取り組みが不十分である。今後経営課題の解決や改善に向けた取り組みを職員全体で行うことで一層の効果が期待できる。		

3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者 評価結果
①	4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。 <input type="checkbox"/> 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。 <input type="checkbox"/> 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。 <input type="checkbox"/> 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。 <input type="checkbox"/> 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。	b
【コメント】 理念や基本方針に基づいた中・長期計画は明示され必要に応じ見直しが行われているが、それらの数値目標が達成できたかどうか解決改善に向けた具体的な取り組みがなされていない。実施の状況評価、見直しの体制を確立されることが期待される。		
②	5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。 <input type="checkbox"/> 単年度の計画(事業計画と収支予算)に、中・長期計画(中・長期の事業計画と中・長期の収支計画)の内容が反映されている。 <input type="checkbox"/> 単年度の計画は、実行可能な具体的な内容となっている。	b

<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	

【コメント】

事業計画の内容は書面で確認できるが、具体的な数値目標の設定が不十分であるため、その実施状況の評価ができていない。年度末に評価を行うことが必要とされるため数値目標を具体化し、評価を行う事のできるシステムを構築していくことが望ましい。

(2) 事業計画が適切に策定されている。

① 6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b
<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。	
<input type="checkbox"/> 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。	
<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)されており、理解を促すための取組を行っている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

事業計画は職員会議で職員に周知され、職員は事業計画を把握しているが、評価見直しについては職員の参画や意見の集約、反映のしつこみが不十分である。今後施設として反映できる仕組みの構築が望まれる。

② 7 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。	c
<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容が、子どもや保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。	
<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を子ども会や保護者会等で説明している。	
<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、子どもや保護者等がより理解しやすい工夫を行っている。	
<input type="checkbox"/> 事業計画については、子どもや保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。	

【コメント】

事業計画は出来ているが、子どもや保護者に周知するまでには至っていない。施設の取り組みを広く周知し理解を求める観点から、保護者、子どもへの周知に向けた仕組みづくりが期待される。

4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。 第三者
評価結果

① 8 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b
<input type="checkbox"/> 組織的にPDCAサイクルにもとづく養育・支援の質の向上に関する取組を実施している。	
<input type="checkbox"/> 養育・支援の内容について組織的に評価(G: Check)を行う体制が整備されている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 評価結果を分析・検討する場が、施設として位置づけられ実行されている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

自己評価や第三者評価は定期的実施、受審されており、全職員より評価後の結果分析や分析内容の検討が行われている。今後は分析結果を整理しPDCAサイクルに基づき養育支援の質の向上が恒常的に行われることが期待される。

②	9 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a
	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員間で課題の共有化が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。	○

【コメント】

自己評価結果、第三者評価結果は、全職員で共有され、改善シートを用いて職員一人一人が評価を行い、それを基に話し合い改善に向けての取り組みが行われている。

II 施設の運営管理

1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。

第三者
評価結果

①	10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの施設の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任について、施設内の広報誌等に掲載し表明している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 平常時のみならず、有事(事故、災害等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。	

【コメント】

職務分担表等で施設長の役割は明文化され、自らの役割を明らかにしているが、施設長不在時の権限委任等が明確化されていない。施設長不在時の職権委任等を明確に文書化し、施設内外に表明していくことが望まれる。

②	11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。	○

【コメント】

施設長は法令順守に係る研修会や勉強会には参加しそれを職員に周知しているが、最近では虐待研修が主であり、幅広い分野での法令順守に関する取り組みは行われていない。社会福祉施設としての幅広い分野について把握するとともに虐待以外の事にも取り組んでいくことが望ましい。

(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。

①	12 養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	b
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、職員の模範となるように、自己研鑽に励み、専門性の向上に努めている。	○

【コメント】

施設長は養育・支援の質の現状について把握すべく自己研鑽し、専門性の向上に努めているが、評価・分析を行うための記録が無い。自らの取り組みを文書化し、表明していくことにより評価・分析を行える仕組みづくりが期待される。

②	13 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	c
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、施設(法人)の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、施設内に同様の意識を形成するための取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	

【コメント】

基準は満たしているが、慢性的な人手不足に悩みながら、賞与をアップしたり、休憩室を設けたり、人材の募集をかけた等職員の働きやすい環境整備に取り組んでいるが、経営の改善や業務の実効性を高めるための体制づくりできていない。今後経営資源を有効活用しながら体制づくりに取り組まることが期待される。

2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		第三者 評価結果
①	14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b
	<input type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育・支援に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。	○
	<input type="checkbox"/> 計画にもとづいた福祉人材の確保や育成が実施されている。	
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。	○
	(5種別共通) <input type="checkbox"/> 各種加算職員の配置に積極的に取り組み、人員体制の充実に努めている。	○

【コメント】

人材の確保は基準人員に加えて5名増を考えているが募集しても応募者が無い。専門職の確保は出来ているものの、人員体制としては十分とは言えない。質の高い養育・支援を継続させていくために人材の確保と育成に関する方針を明確にし、計画的に取り組んでいくことが望まれる。

②	15 総合的な人事管理が行われている。	c
	<input type="checkbox"/> 法人、施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にし、職員自らが将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みができています。	○

<input type="checkbox"/> 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。	○
<input type="checkbox"/> 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。	
<input type="checkbox"/> 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。	
<input type="checkbox"/> 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。	

【コメント】

人事異動に関しては職員にアンケートを取り出来るだけ働きたい部署に配属できるようにしている。コモンセンスペアレンティングによる研修を全職員が段階的に受けスキルアップにつなげていくことにより「期待する職員像」を明確にしている。今後職員個々の希望を把握したうえで評価・分析し人事考課につなげていく取り組みが期待される。

(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

① 16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	b
<input type="checkbox"/> 職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。	
<input type="checkbox"/> 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。	○
<input type="checkbox"/> 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。	○
<input type="checkbox"/> 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の相談窓口を施設内に設置するなど、職員が相談しやすいような仕組みの工夫をしている。	○
<input type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。	○
<input type="checkbox"/> ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。	
<input type="checkbox"/> 改善策については、人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。	
<input type="checkbox"/> 福祉人材の確保、定着の観点から、施設の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。	

【コメント】

リフレッシュ休暇を採用し職員が仕事での疲れをとれるように配慮している。健康診断・予防接種や心理担当職員により不安や悩みのある職員に対して心理相談を行っている。今後積極的に就労状況の把握を行うなど意識的に働きやすい職場づくりを検討し、働きやすい職場づくりの一連の取り組みを定着させることが期待される。

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

① 17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	c
<input type="checkbox"/> 施設として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。	
<input type="checkbox"/> 個別面接を行う等施設の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標(目標項目、目標水準、目標期限)が明確かつ適切に設定されている。	
<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。	
<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。	

【コメント】

職員一人一人が自身の目標を設定しやすいよう目標項目、目標水準、目標期限等を明確にし、職員自身が目指す支援の姿をイメージできるような仕組みを構築していくことが期待される。

② 18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b
<input type="checkbox"/> 施設が目指す養育・支援を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。	○

<input type="checkbox"/>	現在実施している養育・支援の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、施設が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	定期的に計画の評価と見直しを行っている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

職員はそれぞれ必要に応じて研修に参加している。またコモンセンスペアレンティングを中心とした教育研修が行われているが、教育・研修計画が策定されていないため定期的に評価が行われず、見直しに繋がっていない。施設としての基本方針を明確にした研修計画を策定するなど研修体制を構築していくことが期待される。

③	19 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	b
<input type="checkbox"/>	個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。	<input type="checkbox"/>
	(5種別共通) <input type="checkbox"/> スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性や施設の組織力の向上に取り組んでいる。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

新人研修の計画・マニュアルが整備されている。外部研修には出来るだけ参加してほしいと思っているが、コロナ禍の影響で外部研修が少なくまた子どもたちが施設の中にいることが多いので研修に参加できていない。非日常の中で実施していない研修も多いが、内部での職員間でのスーパービジョンを行う等研修の機会を確保できる取り組みが望まれる。

(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

①	20 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a
<input type="checkbox"/>	実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	実習生等の養育・支援の専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	専門職種の特徴に配慮したプログラムを用意している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	指導者に対する研修を実施している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	実習生については、学校側と実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

教育・育成に対する基本姿勢が明文化されていると共に、指導者は研修等に参加し実習生の受け入れがスムーズに行えるように取り組んでいる。マニュアルが適切に整備され、指導記録等も整備されている。

3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	第三者 評価結果	
①	21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b
<input type="checkbox"/>	ホームページ等の活用により、法人、施設の理念や基本方針、養育・支援の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。	<input type="checkbox"/>

<input type="checkbox"/> 施設における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公開している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公開している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 法人、施設の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人、施設の実存意義や役割を明確にするように努めている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 地域へ向けて、理念や基本方針、施設で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。	<input type="radio"/>

【コメント】

ホームページや園内の掲示板等を通じて、必要な情報公開が行われている。玄関わきの掲示板を通じて地域に向けて公表するよう取り組んでいる。苦情・相談の内容に基づく改善対応は個人情報が集まっているため公開することは出来ていない。今後は個人が特定できないように配慮しながら情報の公開に取り組むことが望ましい。

② 22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b
<input type="checkbox"/> 施設(法人)における事務、経理、取引等に関するルール、職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 施設(法人)における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 施設(法人)の事業、財務について、外部の専門家による監査支援等を実施している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 外部の専門家による監査支援等の結果や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。	<input type="radio"/>

【コメント】

必要に応じて外部の専門家の助言を求める等の体制が整備され、公正かつ透明性の高い運営に取り組んでいる。職務分掌と権限、責任が明確化されているが職員に周知するまでに至っていない。今後職員への周知を徹底されることが望まれる。

4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。	第三者 評価結果
① 23 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a
<input type="checkbox"/> 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 子どもの個別の状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、必要があれば職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 施設や子どもへの理解を得るために、地域の人々に向けた日常的なコミュニケーションを心がけている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 子どもの買い物や通院等日常的な活動についても、定型的でなく個々の子どものニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。	<input type="radio"/>
(児童養護施設) <input type="checkbox"/> 学校の友人等が施設へ遊びに来やすい環境づくりを行っている。	<input type="radio"/>

【コメント】

子供会、地方祭りに参加する等地域交流に積極的に取り組んでいる。毎月地域の月例清掃に参加している。新型コロナウイルスの感染予防のため、現在は、学校の友人等が学園に遊びに来て中に入ることにはできないが、玄関わきまで遊びに来てくれて一緒に遊んでいる。

② 24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
<input type="checkbox"/> ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化して取り組んでいる。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。	<input type="radio"/>

【コメント】

ボランティア受け入れマニュアルが整備されており、学習や清掃ボランティア等を積極的に受け入れている。新型コロナウイルス感染予防のため現在は受け入れを自粛している。

(2) 関係機関との連携が確保されている。

①	25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 当該地域の関係機関・団体について、個々の子どもの状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 地域に適切な関係機関・団体がない場合には、子どものアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。	<input type="radio"/>

【コメント】

小中学校や特別支援学校等との連絡会を開催したり、橋本市子育て地域包括支援センターと2、3か月に1回面談を行うなど関係機関との連携を積極的に行っている。また職員間での情報共有化が行われている。

(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

①	26 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	c
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)が実施する事業や運営委員会の開催、関係機関・団体との連携、地域の各種会合への参加、地域住民との交流活動などを通じて、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。	

【コメント】

運営委員会の開催や関係機関との連携は部分的に出来ているところもあるが、地域の福祉ニーズや生活課題の把握等積極的な取り組みができていない。今後地域の福祉ニーズの把握等に対する積極的な取り組みが期待される。

②	27 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。	
	<input type="checkbox"/> 多様な機関等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)が有する養育・支援に関するノウハウや専門的な情報を、地域に還元する取組を積極的に行っている。	
	<input type="checkbox"/> 地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行っている。	<input type="radio"/>

【コメント】

職員は道端に落ちているごみに気づいたらすぐに拾う等地域コミュニティやまちづくりに貢献している。学園は、橋本市の福祉避難所になっているため災害時はいつでも避難してもらえるように心構えをしている。今後は、社会福祉法人に求められる責務として、地域課題を地域の人と共有するとともに専門的なノウハウや知識を地域に還元できる仕組みづくりが望まれる。

Ⅲ 適切な養育・支援の実施

1 子ども本位の養育・支援

(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。

第三者
評価結果

①	28 子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針に、子どもを尊重した養育・支援の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもを尊重した養育・支援の実施に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもを尊重した養育・支援の実施に関する基本姿勢が、個々の支援の標準的な実施方法等に反映されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、施設で勉強会・研修を実施している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

理念や基本方針に子どもを尊重した養育・支援の実施が明示されるとともに、「倫理綱領」や規定が策定されている。年2回人権研修を実施している他、職員会議ではロールプレイによる実践練習を取り入れる等倫理が身近に捉えられるよう取り組んでいる。職員はチェックリストを用い自身の行動に対して振り返りができ、評価できるようにしている。

②	29 子どものプライバシー保護に配慮した養育・支援が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 子どものプライバシー保護について、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務等を明記した規程・マニュアル等が整備され、職員への研修によりその理解が図られている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 規程・マニュアル等にもとづいて、プライバシーに配慮した養育・支援が実施されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守るよう設備等の工夫を行っている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 子どもや保護者等にプライバシー保護に関する取組を周知している。	<input type="checkbox"/>	

【コメント】

2人部屋になっている居室はベッドを高い位置に配置することにより、個人のプライバシーが守れるように配慮されている。入浴は1人で入ることが基本となっている等、個人のプライバシーが守れるよう工夫が行われているが、子どものプライバシーに関するマニュアルが整備されていないため、規定に基づいた支援ができていない。今後マニュアルを作成しそれに基づいて養育・支援が行われることが期待される。

(2) 養育・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。

①	30 子どもや保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	a
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針、養育・支援の内容や施設の特徴等を紹介した資料を準備している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容になっている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設に入所予定の子どもや保護者等については、個別に丁寧な説明を実施している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 見学等の希望に対応している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもや保護者等に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

理念や基本方針などが説明された資料は、仮名打ちされたわかりやすい資料になっている。入所予定の児童に対しては施設見学をしたり学園についての説明を受ける機会がある。不在がちな保護者に対しては、情報の提供時は、電話連絡の上文書等の配布を行うように配慮している。

②	31 養育・支援の開始・過程において子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	b
	<input type="checkbox"/> 子どもや保護者等が自らの状況を可能な限り認識し、施設が行う養育・支援についてできるだけ主体的に選択できるよう、よりわかりやすくなるような工夫や配慮をして説明している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の開始・過程における養育・支援の内容に関する説明と同意にあたっては、子どもや保護者等の自己決定を尊重している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 養育・支援の開始・過程においては、子どもや保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。	<input type="checkbox"/>	

意思決定が困難な子どもや保護者等への配慮についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。

【コメント】

子どもや保護者に対して施設が行う養育・支援についてわかりやすく説明しているとともに同意にあたっては、自己決定を尊重し書面に残しているが、意思表示が困難な子どもや保護者への配慮がルール化できていない。今後これらをルール化し職員間で共有して行く取り組みが期待される。

③

32 養育・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。

a

養育・支援の内容の変更にあたり、従前の内容から著しい変更や不利益が生じないように配慮されている。

他の施設や地域・家庭への移行にあたり、養育・支援の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。

施設を退所した後も、施設として子どもや保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。

施設を退所した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。

【コメント】

養育・支援の変更にあたり著しい不利益が生じないように、配慮している。特に緊急性の高い措置変更のケースについては、臨機応変に対応している。施設退所後のアフターケアについては、その際のリーダーが努めることが多いが、アフターケア担当者とFSWが連携をして行うこともあり、安心して相談できる体制が取れている。その際内容を記載した文書を渡している。

(3) 子どもの満足の向上に努めている。

第三者
評価結果

①

33 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。

b

子どもの満足に関する調査が定期的に行われている。

子どもへの個別の相談面接や聴取等が、子どもの満足を把握する目的で定期的に行われている。

職員等が、子どもの満足を把握する目的で、子ども会等に出席している。

子どもの満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、子ども参画のもとで検討会議の設置等が行われている。

分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。

【コメント】

子どもが中心で子供会が開催され、職員も出席している。子供会で決まった内容や目標は学園内の掲示板に貼られている。子どもたちの意見に対して改善するための取り組みを職員間で話し合っているが満足調査が定期的に行うまでには至っていない。今後子どもの満足を把握するために定期的な面談や満足に関する調査を定期的に行う取り組みが望ましい。

(4) 子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。

①

34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。

b

養育・支援の実施等から生じた苦情に適切に対応することは責務であることを理解し、苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。

苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を子どもや保護者等に配布し説明している。

苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、子どもや保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。

苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。

苦情内容に関する検討内容や対応策、解決結果等については、子どもや保護者等に必ずフィードバックするとともに、苦情を申し出た子どもや保護者等のプライバシーに配慮したうえで、公開している。

苦情相談内容にもとづき、養育・支援の質の向上に関わる取組が行われている。

【コメント】

苦情解決の仕組みは整備され、それに対する記録が適切に記され保管されている。またプライバシーに配慮された上で、意見箱の内容等が公開されているが、子どもや保護者に苦情解決の仕組みを理解してもらうための取り組みが行われていない。子どもや保護者が苦情解決の仕組みを理解し、苦情を申し出しやすくし、それを支援の質の向上に生かせるような体制の確保が望まれる。

②	35 子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、子ども等に周知している。	b
	<input type="checkbox"/> 子どもが相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選ぶことをわかりやすく説明した文書を作成している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもや保護者等に、その文書の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。	○

【コメント】

子どもたちは相談相手を自由に選ぶことができるように説明された文章が作成されている。また必要に応じて相談室を利用したり、担当の職員とのコミュニケーションをとる時間を設けたり、自治会で意見を述べやすくする、意見箱を利用する等、環境に配慮されているが、保護者に対しての周知が出来ていない。今後は、保護者に対しても意見を述べたり相談ができる仕組みがあることを周知されることが望まれる。

③	36 子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b
	<input type="checkbox"/> 職員は、日々の養育・支援の実施において、子どもが相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 意見箱の設置、アンケートの実施等、子どもの意見を積極的に把握する取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 意見等にもとづき、養育・支援の質の向上に関わる取組が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。	

【コメント】

相談や意見に対して対応策等を定めたマニュアルが整備されている。子ども用の意見箱を設置したり、アンケートを実施したり子どもからの相談や意見に対して真摯に対応できるシステムが構築されているが、マニュアルの見直しには至っていない。今後は、その時々に応じて見なおす機会を持つと共に定期的にマニュアルの見直しを行い、職員間で共有していくことが望まれる。

(5) 安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。

第三者
評価結果

①	37 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b
	<input type="checkbox"/> リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネジャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもへの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。	
	<input type="checkbox"/> 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。	

【コメント】

事故発生時の対応マニュアルやヒヤリハット記録が整備されていると共に安全のための点検表も記録されておりリスクマネジメントに対する高い意識を持っている。事例の収集に対する積極的な取り組みがなされていなく、定期的に評価見直しを行っていない。今後安全と安心を脅かす事例等の収集に取り組むと共に安全確保策の実施状況等の定期的な見直しが行われることが望まれる。

②	38 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。	
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し職員に周知徹底するとともに、定期的に見直している。	○
	<input type="checkbox"/> 担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。	○
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防策が適切に講じられている。	○
	<input type="checkbox"/> 感染症が発生した場合には対応が適切に行われている。	○

【コメント】

感染症予防に関するマニュアルが作成されているとともに、定期的な勉強会が実施されていて、感染症予防・感染症発生時の対応がスムーズに行えるような仕組みが構築されているが、責任と役割を明確にした管理体制が整備されていない。今後は各職員の役割分担、管理職の責任等を明確にした管理体制を整備することが期待される。

③	39 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 災害時の対応体制が決められている。	○
	<input type="checkbox"/> 立地条件等から災害の影響を把握し、発災時においても養育・支援を継続するために「事業継続計画」(BCP)を定め、必要な対策・訓練等を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 子ども及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。	○
	<input type="checkbox"/> 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。	○

【コメント】

防災マニュアルを作成し災害時の対応体制は整備されているが安否確認についての体制が明確にされていなく保護者には周知されていない。また事業継続計画(BCP)が定められていない。今後災害時においても養育・支援を継続するための事業継続計画を作成し職員間で共有することが期待される。

2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の標準的な実施方法が確立している。		第三者 評価結果
①	40 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。	b
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法が適切に文書化されている。	○
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法には、子どもの尊重や権利擁護とともにプライバシーの保護に関わる姿勢が明示されている。	○
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。	
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。	
【コメント】		
コモンセンスペアレンティングの手法を軸とし、子どもの療育支援を行い、全職員が学びを深めているが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大予防のためコモンセンスペアレンティングの講習会が開催されていなく職員に周知徹底するまでには至っていない。また実施状況を確認するための仕組みが確立されていない。コモンセンスペアレンティングに特化することなくどんな状態の中でも適切に養育・支援が実施される仕組みづくりが望ましい。		
②	41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が施設で定められている。	○
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に行われている。	○

<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、自立支援計画の内容が必要に応じて反映されている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、職員や子ども等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

自立支援計画策定や評価については、6か月に1回見直しが行われ、目標等は子どもと一緒に考えている。ケアマネジメントのしくみが適切に用いられ標準的な実施方法についての見直しをする仕組みが確立している。

(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。

①	42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	b
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画策定の責任者を設置している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 部門を横断したさまざまな職種の関係職員(種別によっては施設以外の関係者も)が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画には、子ども一人ひとりの具体的なニーズ、具体的な養育・支援の内容等が明示されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を策定するための部門を横断したさまざまな職種による関係職員(種別によっては組織以外の関係者も)の合議、子どもの意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な養育・支援が行われている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

自立支援計画作成にあたり心理担当職員や看護師等にも意見をもらい全職員で話し合いを行っている。子どもの意向も聞くように取り組んでいるが、手順が定められていない。今後手順を定めて実施することにより、一人一人の子どもに合わせた計画書作成に取り組むことが望まれる。

②	43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画どおりに養育・支援が行われていることを確認する仕組みが構築され、機能している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、子どもの意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 見直しによって変更した自立支援計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、養育・支援を十分に実施できていない内容(ニーズ)等、養育・支援の質の向上に関わる課題等が明確にされている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

自立支援計画は6か月に1回職員間で話し合いながら見直しが行われているが、見直しが行われた後の計画については支援にあたる全職員に周知ができていない。また緊急な見直しについては十分に行えていない。変更した計画を全職員に周知されることが望ましいため、その手順などの作成に期待したい。

(3) 養育・支援の実施の記録が適切に行われている。

①	44 子どもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもの身体状況や生活状況等を、施設が定めた統一した様式によって把握し記録している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画にもとづく養育・支援が実施されていることを記録により確認することができる。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。	<input type="checkbox"/>

<input type="checkbox"/>	施設における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	情報共有を目的とした会議の定期的な開催等、部門横断での取組がなされている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	パソコンのネットワークシステムの利用や記録ファイルの回覧等を実施して、施設内で情報を共有する仕組みが整備されている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

養育・支援の実施状況の記録は子ども一人一人の自立支援計画に基づいて把握されており統一した様式により記録している。パソコン端末内に記された記録は、朝礼や昼礼時に伝達したり職員が時間のある時に確認する等、日々の支援のための情報共有に生かされている。

②	45 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b
<input type="checkbox"/>	個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	記録管理の責任者が設置されている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	個人情報の取扱いについて、子どもや保護者等に説明している。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

個人情報保護規程という名称ではないが、個人情報の保護に関する規程が明確にされた資料がある。しかし、職員はそれを理解してなく、職員に対する周知がなされていない。職員に対する研修を強化し職員間で共有するとともに、子どもや保護者にも説明できるような仕組みづくりが期待される。

内容評価基準（25項目）

A-1 子どもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

(1) 子どもの権利擁護		第三者 評価結果
①	A1 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	a
<input type="checkbox"/>	子どもの権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	子どもの権利擁護に関する取組が周知され、規程・マニュアル等にもとづいた養育・支援が実施されている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	権利擁護に関する取組について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	子どもの思想・信教の自由について、最大限に配慮し保障している。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

年2回人権チェックリストを用いて見直しを図るとともに、人権研修ではロールプレイにて振り返りをし、法人全体で権利擁護への意識付けを強めている。課題となることは次の年度への対策とし防止にも取り組んでいる。

(2) 権利について理解を促す取組

①	A2 子どもに対し、自他の権利について正しい理解を促す取組を実施している。	b
<input type="checkbox"/>	権利についての理解を深めるよう、年齢に配慮した説明を工夫し、日常生活を通して支援している。	<input type="checkbox"/>

<input type="checkbox"/> 子どもの年齢や状態に応じて、権利についての理解を深めるよう、権利ノートやそれに代わる資料等を使用して、生活の中で保障されるさまざまな権利についてわかりやすく説明している。	
<input type="checkbox"/> 職員間で子どもの権利に関する学習機会を持っている。	○
<input type="checkbox"/> 子ども一人ひとりがかけがえない大切な存在であり、自分を傷つけたりおとしめたりしてはならないこと、また、他人を傷つけたり脅かしたりしてはならないことが、日々の養育の中で伝わっている。	○
<input type="checkbox"/> 年下の子どもや障がいのある子どもなど、弱い立場にある子どもに対して、思いやりの心をもって接するように支援している。	○

【コメント】

権利ノートの活用で、年齢や障害のある子に配慮し個別に場所を設けて説明が行われ「困っている人を助けると自分も助けられる。」を伝えている。職員には、外部からの講師を招いて学習の機会がある。

(3) 生き立ちを振り返る取組

① A3 子どもの発達状況に応じ、職員と一緒に生き立ちを振り返る取組を行っている。	b
<input type="checkbox"/> 子どもの発達状況等に応じて、適切に事実を伝えようと努めている。	○
<input type="checkbox"/> 事実を伝える場合には、個別の事情に応じて慎重に対応している。	○
<input type="checkbox"/> 伝え方や内容などについて職員会議等で確認し、職員間で共有している。	○
<input type="checkbox"/> 事実を伝えた後、子どもの変容などを十分把握するとともに、適切なフォローを行っている。	
<input type="checkbox"/> 子ども一人ひとりに成長の記録(アルバム等)が用意され、空白が生じないように写真等の記録の収集・整理に努めている。	○
<input type="checkbox"/> 成長の過程を必要に応じて職員と一緒に振り返り、子どもの生き立ちの整理に繋がっている。	○

【コメント】

ライフストーリーワークの取り組みでは、子どもの生き立ちを知る権利として個別に対応を行い、子どもが知りたいことを伝えるよう努めている。子どもと一緒にアルバムの整理をしながら思いを汲み取り、職員間においても会議で共有ができています。

(4) 被措置児童等虐待の防止等

① A4 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	b
<input type="checkbox"/> 体罰や不適切なかかわり(暴力、大格闘等)の心理的虐待などがあつた場合を想定して、施設長が職員・子ども双方にその原因や体罰等の内容・程度等、事実確認をすることや、「就業規則」等の規程に基づいて厳正に処分を行う仕組みがつけられている。	○
<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりの防止について、会議等で具体的な例を示すなどして職員に徹底し、行われていないことを確認している。また、不適切なかかわりを発見した場合は、記録し、必ず施設長に報告することが明文化されている。	○
<input type="checkbox"/> 子どもが自分自身を守るための知識、具体的方法について学習する機会を設けており、不適切なかかわりの具体的な例を示して、子どもに周知し、子ども自らが訴えることができるようにしている。	
<input type="checkbox"/> 被措置児童等虐待が疑われる事案が生じたときに、施設内で検証し、第三者の意見を聞くなどの迅速かつ誠実な対応をするための体制整備ができており、被措置児童等虐待の届出・通告があつた場合には、届出者・通告者が不利益を受けることのない仕組みが整備・徹底されている。	○
<input type="checkbox"/> 被措置児童等虐待の届出・通告制度について説明した資料を子ども等に配布、説明している。また、掲示物を掲示するなどして、子どもが自ら訴えることができるようにしている。	○

【コメント】

年2回の人権チェックリストと虐待防止マニュアルを活用し、不適切な関わりについては会議で検討しており、防止と早期発見に取り組んでいる。子ども一人ひとりに、嫌なことがあれば学校の先生などの話しやすい人に伝えること、いつでも話を聞けることを直接に伝えている。職員には、暴力を振るわない契約書を交わしている。

(5) 子どもの意向や主体性への配慮

①	A5 職員と子どもが共生の意識を持ち、生活全般について共に考え、快適な生活に向けて子ども自身が主体的に取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 快適な生活に向けての取組を職員と子どもが共に考え、自分たちで生活をつくっているという実感を持たせるとともに、施設の運営に反映させている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもが自分たちの生活における問題や課題について主体的に検討する機会を日常的に確保している。	○
	<input type="checkbox"/> 余暇の過ごし方について、子ども自身が自由に選択し、一人ひとりの趣味や興味に合った活動が行えるように支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの状況に応じて、金銭の管理や計画的な使い方などを学び、金銭感覚や経済観念が身につくよう支援している。	○

【コメント】

自由時間には外出や施設でのDVDの貸出等、子どもの自主性の活動を優先している。子ども同士で1ヶ月毎に、生活の目標を決めて壁に貼り、実践から振り返りを支援している。入浴時間も、子ども同士で話し合って決めている。

(6) 支援の継続性とアフターケア

①	A6 子どものそれまでの生活とのつながりを重視し、不安の軽減を図りながら移行期の支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもの生活の連続性に関して、施設全体でその重要性を理解し、入所や退所に伴う不安を理解し受け止めるとともに、子どもの不安を軽減できるように配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 入所した時、温かく迎えることができるよう、受け入れの準備をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもがそれまでの生活で築いてきた人間関係などを、可能な限り持続できるように配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 家庭復帰や施設変更にあたり、子どもが継続して安定した生活を送ることができるよう、支援を行っている。	○

【コメント】

入所時には、好きな食べ物を提供し施設にいる子と一緒に迎え、入所のしおりで安心した生活であることを伝えている。家庭復帰においては、子どもの気持ちを優先に汲み取り慎重に対応している。

②	A7 子どもが安定した社会生活を送ることができるようリービングケアと退所後の支援に積極的に取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 子どものニーズを把握し、退所後の生活に向けてリービングケアの支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 退所後も施設に相談できる窓口(担当者)があり、支援をしていくことを伝えている。	○
	<input type="checkbox"/> 退所者の状況の把握に努め、記録が整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 行政機関や福祉機関、あるいは民間団体等と連携を図りながらアフターケアを行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 本人からの連絡だけでなく、就労先、アパート等の居住先からの連絡、警察等からのトラブル発生の連絡などにも対応している。	○
	<input type="checkbox"/> 退所者が集まれる機会や、退所者と職員・入所している子どもとが交流する機会を設けている。	○

【コメント】

退所後に、子ども自身で生活ができる取り組みをしており、いつでも相談に応じられることを説明している。退所者の施設の行事への参加があり、生まれた子どもを連れて来るなど集まってくる機会が多くある。普段より、行政機関や福祉機関と連携できる関係となっている。

A-2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の基本

①	A8 子どもを理解し、子どもが表出する感情や言動をしっかりと受け止めている。	b
---	--	---

第三者
評価結果

<input type="checkbox"/>	職員はさまざまな知見や経験によって培われた感性に基づいて子どもを理解し、受容的・支持的な態度で寄り添い、子どもと共に課題に向き合っている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	子どもの生育歴を知り、そのときどきで子どもの心に何が起こっていたのかを理解している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	子どもが表出する感情や言動のみを取り上げるのではなく、被虐待体験や分離体験などに伴う苦痛・いかり、見捨てられ感も含めて、子どもの心に何が起こっているのかを理解しようとしている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	子どもに行動上の問題等があった場合、単にその行為を取り上げて叱責するのではなく、背景にある心理的課題の把握に努めている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	子どもたちに職員への信頼が芽生えていることが、利用者アンケートを通じて感じられる。	

【コメント】

入所時に、職員間でカンファレンスを行い情報の共有ができており、常に担当者がカルテや記録を確認できる環境が整っている。年齢別に、言葉だけの理解に止めず、声かけとともに子どもに寄り添い愛着を持った支援が行われている。利用者アンケートの実施に向け検討中である。

②	A9 基本的欲求の充足が、子どもと共に日常生活を構築することを通してなされるよう養育・支援している。	a
<input type="checkbox"/>	子ども一人ひとりの基本的欲求を満たすよう努めている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	基本的欲求の充足において、子どもと職員との関係性を重視している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	生活の決まりは、秩序ある生活の範囲内で子どもの意思を尊重した柔軟なものとなっている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	子どもにとって身近な職員が一定の裁量権を有し、個々の子どもの状況に応じて柔軟に対応できる体制となっている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	基本的な信頼関係を構築するために職員と子どもが個別的に触れ合う時間を確保している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	夜目覚めたとき大人の存在が感じられるなど安心感に配慮している。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

朝礼・昼礼で生活状況の報告をし、決られた時間だけでなく、状況に応じて子どもの話しを聞き意思を受け止めている。担当者だけで解決できないことは、指導者や上司に相談できる体制ができています。

③	A10 子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切にし、子どもが自ら判断し行動することを保障している。	a
<input type="checkbox"/>	子どもがやらなければならないことや当然できることについては、子ども自身が行うように見守ったり、働きかけたりしている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	職員は必要以上の指示や制止をしていない。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	子どもを見守りながら状況を的確に把握し、賞賛、励まし、感謝、指示、注意等の声かけを適切に行っている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	つまづきや失敗の体験を大切に、主体的に問題を解決していくよう支援し、必要に応じてフォローしている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	朝・夕の忙しい時間帯にも、職員が子どもを十分に掌握、援助できるように、職員の配置に配慮している。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

日常的に、特に職員数が少ない時間帯には、意識を強め子どもを見守り、状況を把握のうえでできているところや頑張っているところを誉めて励まし言葉で伝えるよう努めている。

④	A11 発達の状態に応じた学びや遊びの場を保障している。	b
<input type="checkbox"/>	施設内での養育が、年齢や発達の状況、課題等に応じたプログラムの下、実施されている。	
<input type="checkbox"/>	日常生活の中で、子どもたちの学びや遊びに関するニーズを把握し、可能な限りニーズに応えている。	<input type="checkbox"/>

<input type="checkbox"/>	□幼児から高校生まで、年齢段階に応じた図書などの文化財、玩具・遊具が用意、利用されている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	□学校や地域にある子どもたちの学びや遊びに関する情報を把握し、必要な情報交換ができています。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	□子どものニーズに応えられない場合、子どもがきちんと納得できる説明がされている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	□幼稚園等に通わせている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	□子どもの学びや遊びを保障するための、資源(専門機関やボランティア等)が十分に活用されている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

個々の自立支援計画票は、ニーズを具体的にボール遊び・なわとび等と作成されている。学校とは連絡帳で情報交換が行われ必要に応じて電話での対応ができています。子どもから納得できた返事が聞けた場合も本当の気持ちを探り、応じられないことがある場合には、わかりやすい説明で支援している。

⑤	A12 生活のいとなみを通して、基本的な生活習慣を確立するとともに、社会常識及び社会規範、様々な生活技術が習得できるよう養育・支援している。	a
<input type="checkbox"/>	□子どもが社会生活をいとなむ上での必要な知識や技術を日常的に伝え、子どもがそれらを習得できるよう支援している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	□子どもと職員が十分な話し合いのもとに「しなければならないこと」と「してはならないこと」を理解し、生活するうえでの規範等守るべき決まりや約束を一緒に考え作っていきようしている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	□地域社会への積極的な参加を図る等、社会性を習得する機会を設けている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	□発達状況に応じ、身体の健康(清潔、病気、事故等)について自己管理できるよう支援している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	□発達状況に応じて、電話の対応、ネットやSNSに関する知識などが身につくよう支援している。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

身体の健康において、看護師が主となって指導し、子どもの年齢によって薬はカレンダーを使い自己管理が行われている。通学路の危険な箇所は、施設長・職員が同行し、携帯電話・インターネットは、条件を決めて使用するよう支援している。教育委員会から、アイパッドのスタディサプリでの学習機会を持つとともに、宿題は職員と一緒にやっている。

(2) 食生活

①	A13 おいしく楽しみながら食事ができるように工夫している。	b
<input type="checkbox"/>	□楽しい雰囲気ですりながら食事できるように、年齢や個人差に応じて食事時間に配慮している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	□食事時間が他の子どもと違う場合にも、温かいものは温かく、冷たいものは冷たくという食事の適温提供に配慮している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	□食事場所は明るく楽しい雰囲気、常に清潔が保たれたもとで、職員と子ども、そして子ども同士のコミュニケーションの場として機能するよう工夫している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	□定期的に残食の状況や子どもの嗜好を把握するための取組がなされ、それが献立に反映されている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	□基礎的な調理技術を習得できるよう、食事やおやつをつくる機会を設けている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

食事は、季節や地元の食材を活かし、アンケートで好みを把握し献立に取り入れている。食べ過ぎ・偏食・おやつと完食できるよう体重管理をしながら調整が行われ、残食は栄養士に報告している。食事時間は決められており間に合わないときには、自主的に電子レンジを活用する。小舎では、子どもで盛り付けが行われ、クッキングの時間は調理の楽しみとなっている。

(3) 衣生活

①	A14 衣類が十分に確保され、子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。	a
<input type="checkbox"/>	□常に衣服は清潔で、体に合い、季節に合ったものを着用している。	<input type="checkbox"/>

<input type="checkbox"/> 汚れた時にすぐに着替えることができ、またTPOに合わせた服装ができるよう、十分な衣類が確保されている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 気候、生活場面、汚れなどに応じた選択、着替えや衣類の整理、保管などの衣習慣を習得させている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 洗濯、アイロンかけ、補修等衣服の管理を子どもの見えるところで行うよう配慮している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 衣服を通じて子どもが適切に自己表現をできるように支援している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 発達状況や好みに合わせて子ども自身が衣服を選択し購入できる機会を設けている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

個々にタンスの整理ができており、施設にある洋服は自由に選べ活用できている。季節にあわない衣服を好む子どもには、必要な説明を行いながら本人の希望に合わせている。

(4) 住生活

① A15 居室等施設全体がきれいに整美され、安全、安心を感じる場所となるように子ども一人ひとりの居場所を確保している。	a
<input type="checkbox"/> 子どもにとって居心地の良い安心安全な環境とは何かを考え、積極的に環境整備を行っている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 小規模グループでの養育を行う環境づくりに配慮している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 中学生以上は個室が望ましいが、相部屋であっても個人の空間を確保している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 身につけるもの、日常的に使用するもの、日用品などは、個人所有としている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 食堂やリビングなどの共有スペースは常にきれいにし、家庭的な雰囲気になるよう配慮している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 設備や家具什器について、汚れたり壊れたりしていない。破損箇所については必要な修繕を迅速に行っている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 発達や子どもの状況に応じて日常的な清掃や大掃除を行い、居室等の整理整頓、掃除等の習慣が身につくようにしている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

施設内は、掃除が行き届き清潔な環境である。各部屋は、子どもの意見を尊重しながら整頓ができるよう配慮がされている。日常の会話の中で、家庭で行うことを伝え、それがあたりまえにできるよう支援している。自由に買い物ができるよう取り組み、シャンプーは個人の好みを使っている。

(5) 健康と安全

① A16 医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康を管理するとともに、必要がある場合は適切に対応している。	a
<input type="checkbox"/> 子どもの平常の健康状態や発育・発達状態を把握し、定期的に子どもの健康管理に努めている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 健康上特別な配慮を要する子どもについては、医療機関と連携して、日頃から注意深く観察し、対応している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 受診や服薬が必要な場合、子どもがその必要性を理解できるよう、説明している。服薬管理の必要な子どもについては、医療機関と連携しながら服薬や薬歴のチェックを行っている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 職員間で医療や健康に関して学習する機会を設け、知識を深める努力をしている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

月1回、看護師と医療や健康について勉強会を行い、一人ひとりにあった医療機関を受診し、日常的に医師と連携ができています。子どもには、体の大切さや命に関わることもあるなど、心身の健康について説明が行われている。

(6) 性に関する教育

① A17 子どもの年齢・発達の状況に応じて、他者の性を尊重する心を育てるよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。	a
---	---

<input type="checkbox"/> 他者の性を尊重し、年齢相応で健全な他者とのつき合いができるよう配慮している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 性をタブー視せず、子どもの疑問や不安に答えている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 性についての正しい知識、関心が持てるよう、年齢、発達状況に応じたカリキュラムを用意し、活用している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 必要に応じて外部講師を招く等して、性をめぐる諸課題への支援や、学習会などを職員や子どもに対して実施している。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

外部から講師を招き学習会を実施し、看護師が主となり勉強会が行われている。年間計画が年齢別に作成され、幼い時から大切なこと・男性の特徴・女性には危ない時には逃げると具体的に伝え、恥ずかしくなく相談できる配慮がある。

(7) 行動上の問題及び問題状況への対応

① A18 子どもの暴力・不適応行動などの行動上の問題に対して、適切に対応している。	b
<input type="checkbox"/> 施設が、行動上の問題があった子どもにとっての癒しの場になるよう配慮している。また、周囲の子どもの安全を図る配慮がなされている。	
<input type="checkbox"/> 施設の日々の生活が持続的に安定したものとなっていることは、子どもの行動上の問題の軽減に寄与している。また子どもの行動上の問題が起きた時も、その都度、問題の要因を十分に分析して、施設全体で立て直そうと努力している。	
<input type="checkbox"/> 不適切な行動を問題とし、人格を否定しないことに配慮をしている。職員の研修等を行い、行動上の問題に対して適切な援助技術を習得できるようにしている。暴力を受けた職員へ無力感等への配慮も行っている。	
<input type="checkbox"/> くり返し児童相談所、専門医療機関、警察等と協議を重ね、事態改善の方策を見つけ出そうと努力している。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

行動上の問題があれば分析を行い、職員への支援体制やメンタルケアに努力している。子どもの年齢に応じて職員の配置を考慮し、周りの子どもにも不安が拡がらないよう環境を整えている。児童相談所には、相談・報告が行われている。

② A19 施設内の子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体で取り組んでいる。	b
<input type="checkbox"/> 問題の発生予防のために、施設内の構造、職員の配置や勤務形態のあり方について定期的に点検を行っており、不備や十分でない点は改善を行っている。	
<input type="checkbox"/> 生活グループの構成には、子ども同士の関係性、年齢、障害などへの配慮の必要性等に配慮している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 課題のある子ども、入所間もない子どもの場合は特別な配慮が必要となることから、児童相談所と連携して個別援助を行っている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 大人(職員)相互の信頼関係が保たれ、子どもがそれを感じ取れるようになっている。子ども間での暴力やいじめが発覚した場合については、施設長が中心になり、全職員が一丸となって適切な対応ができるような体制になっている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 暴力やいじめに対する対応が施設だけでは困難と判断した場合には、児童相談所や他機関等の協力を得ながら対応している。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

特に気づきにくい所の見守りに取り組んでおり、子どもには、日常的に「人に優しくすれば、自分にも優しくされる」ことを伝えている。入所時に、入所のしおりで安心・安全な場所であることも伝えている。人権研修等でのいじめ等の発生予防を学ぶ機会を設けている。

(8) 心理的ケア

① A20 心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。	b
<input type="checkbox"/> 心理的ケアを必要とする子どもについては、自立支援計画に基づき心理支援プログラムが策定されている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 施設における職員間の連携が強化されるなど、心理的支援が施設全体の中で有効に組み込まれている。	
<input type="checkbox"/> 心理的ケアが必要な子どもへの対応に関する職員研修やスーパービジョンが行われている。	<input type="checkbox"/>

- 職員が必要に応じて外部の心理の専門家からスーパービジョンを受ける体制が整っている。 ○
- 心理療法を行うことができる有資格者を配置し、心理療法を実施するスペースを確保している。 ○
- 児童相談所と連携し、対象となる子どもの保護者等へ定期的な助言・援助を行っている。

【コメント】

心理士により、入所者の心理的ケアに取り組んでおり、2か月毎にケアカンファレンスを行っている。心理プログラムの取り入れを協議中であり、突発的な対応も行える仕組みを検討している。児童相談所の心理士より助言のもらえる学びの機会がある。

(9) 学習・進学支援、進路支援等

①	A21 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 静かに落ち着いて勉強できるようにその時の本人の希望に沿えるような個別スペースや学習室を用意するなど、学習のための環境づくりの配慮をし、学習習慣が身につくよう援助している。 ○	
	<input type="checkbox"/> 学校教師と十分な連携をとり、常に子ども個々の学力を把握し、学力に応じた個別的な学習支援を行っている。一人ひとりの必要に応じて、学習ボランティアや家庭教師、地域の学習塾等を活用する機会を提供している。 ○	
	<input type="checkbox"/> 学力が低い子どもについては、基礎学力の回復に努める支援をしている。	
	<input type="checkbox"/> 忘れ物や宿題の未提出について把握し、子どもに応じた支援をしている。 ○	
	<input type="checkbox"/> 障害のある子どものために、通級による指導や特別支援学級、特別支援学校等への通学を支援している。 ○	

【コメント】

宿題は個別に見守っており、必要に応じて、人数ごとで廊下にテーブルを用意しお互いに教えあい共に学ぶ環境となっている。施設長は、元教員の経験を活かし学習支援が有効にできている。中高生は希望により塾に通うことができる。

②	A22 「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	b
	<input type="checkbox"/> 進路について自己決定ができるよう進路選択に必要な資料を収集し、子どもに判断材料を提供し、子どもと十分に話し合っている。 ○	
	<input type="checkbox"/> 進路選択に当たって、本人、親、学校、児童相談所の意見を十分聞き、自立支援計画に載せ、各機関と連携し支援をしている。 ○	
	<input type="checkbox"/> 就学者自立生活支援事業、社会的養護自立支援事業、身元保証人確保対策事業、奨学金など、進路決定のための経済的な援助の仕組みについての情報提供をしている。 ○	
	<input type="checkbox"/> 進路決定後のフォローアップや失敗した場合に対応する体制ができており、対応している。 ○	
	<input type="checkbox"/> 学校を中退したり、不登校となった子どもへの支援のなかで、就労(支援)しながら施設入所を継続することをもって社会経験を積めるよう支援している。 ○	
	<input type="checkbox"/> 高校卒業後も進学を希望する子どものために、資金面、生活面、精神的面など、進学の実現に向けて支援、情報提供をしている。 ○	
	<input type="checkbox"/> 高校卒業して進学あるいは就職した子どもであっても、不安定な生活が予想される場合は、必要に応じて措置延長を利用して支援を継続している。	

【コメント】

進路については、個々の得意なことや好きなことなど、意思を尊重しながら、進学・就職を自己決定できるよう支援している。自分のことを話したくない子どもには、返事がしやすい質問方法の工夫を行っている。学校を中退したり、不登校となった子どもには、関係機関と連携し、専門の方の意見を聞きながら、子どもに寄り添った支援を行っている。

③	A23 職場実習や職場体験、アルバイト等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる。	b
	<input type="checkbox"/> 実習を通して、社会の仕組みやルールなど、自分の行為に対する責任について話あっている。 ○	
	<input type="checkbox"/> 実習を通して、金銭管理や生活スキル、メンタル面の支援など、子どもの自立支援に取り組んでいる。 ○	

実習先や体験先の開拓を積極的に行っている。

職場実習の効果を高めるため、協力事業主等と連携している。

アルバイトや、各種の資格取得を積極的に奨励している。

○

【コメント】

本人の希望でアルバイトを行うことができ、その体験をもとに、社会の仕組みやルール、自己責任について話し合い将来への力にできるよう工夫した支援を行っている。アルバイト等の機会を通じ、子どもの希望を尊重しながら、金銭管理等の自立支援に取り組んでいる。

(10) 施設と家族との信頼関係づくり

① A24 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。

a

施設の相談窓口および支援方針について家族に説明し、家族と施設、児童相談所が子どもの成長をともに考えることを伝え、家族と信頼関係を構築できるよう図っている。

○

家庭支援専門相談員の役割を明確にし、施設全体で家族関係調整、相談に取り組んでいる。

○

面会、外出、一時帰宅などを取り入れ子どもと家族の継続的な関係づくりに積極的に取り組んでいる。

○

外出、一時帰宅後子どもの様子を注意深く観察し、不適切な言動や行動の発見に努め、さらに保護者等による「不当に妨げる行為」に対して適切な対応を行っている。

○

子どもに関する学校、地域、施設等の行事予定や情報を家族に随時知らせ、必要に応じて保護者等にも行事への参加や協力を得ている。

○

【コメント】

家族との関係づくりについては、個別に必要な対応をしており、面会時の様子を確認しその情報を次の面会に活かしている。面会の不安があれば、本人に丁寧に理由を聞いたうえで意志を尊重することとしている。また、本人からの希望があれば、面会の状況を整える配慮を充分に行っている。

(11) 親子関係の再構築支援

① A25 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。

b

家庭支援専門相談員を中心に、ケースの見立て、現実的な取組を可能とする改善ポイントの絞り込みを行うなど、再構築のための支援方針が明確にされ施設全体で共有されている。

○

面会、外出、一時帰宅、あるいは家庭訪問、施設における親子生活訓練室の活用や家族療法事業の実施などを通して、家族との関係の継続、修復、養育力の向上などに取り組んでいる。

○

児童相談所等の関係機関と密接に協議し連携を図って家族支援の取組を行っている。

○

【コメント】

家庭復帰の年間予定を作成し、親・祖父母・兄弟姉妹との家族関係を配慮し、家庭訪問で環境の把握を行い積極的な取り組みとなっている。日常の中で親の大切さを伝え、初めて会うときには手紙を書くなど工夫した支援を行っている。児童相談所とは、密に連絡を行っている。